

(仮称) 本町二丁目公園基本設計について

意見交換会で出された意見を踏まえて、(仮称) 本町二丁目公園基本設計をまとめたので報告する。

1. 意見交換会の実施結果

○実施日時及び参加状況等

平成 28 年 1 月 11 日(午後 2 時～) 参加者 9 名 弥生区民活動センター

平成 28 年 1 月 17 日(午後 7 時～) 参加者 15 名 弥生区民活動センター

○意見交換会後の募集状況

平成 28 年 1 月 11 日～24 日 持参 1 名、メール 1 名

○主な意見と区の考え方 (※同趣旨の意見は一括している。)

①一般施設について

No.	区民等からの意見・要望	区の考え方
1	子どもはトイレを我慢できないので、遊戯広場の近くにも設置してほしい。	トイレは防犯上人目につきながらも視界を邪魔しない位置であることが望ましいので、公園全体の配置から今回の基本設計(案)で示した位置、基数が最適であると考えている。
2	ベンチは十分な基数を配置しているのか。草地広場(大)にもサークルベンチを設置してほしい。近隣住民が集まった時に、横に並んで座るだけでなく、向かい合って座りながら公園での会話を楽しみたい。	ベンチは昨年度開園した「南台いちよう公園」や「本五ふれあい公園」と比べると、かなり多くの基数を配置している。草地広場(大)には、南側に四阿(あずまや)を設けるので、そこに多人数で集まって座りながら会話等を楽しんでいただける。
3	直射日光による熱中症予防や突然の雷雨を避けるための屋根がある施設を、四阿(あずまや)以外にも設置してほしい。	日よけについては、中高木の植栽により緑陰を確保する。四阿(あずまや)は大きさが約 4 m 角の規模を想定しているので、多人数がその中に退避することが可能である。その他、草地広場(大)西側のトイレは建物が 2 つに分かれており、その間に屋根をかけるので、雷雨時はそこに退避することも可能である。
4	花と緑の小広場とつながる階段西側にも東側と同じようなスロープを設ければ、トイレへ行くとき等、平常時の利便性が高まり、災害時も避難路としても活用できるのではないか。	階段西側にスロープを設置すると、必要延長から修景植栽のほぼ全てがコンクリートの構造体になってしまうため設置しない。階段東側であれば、非常用通用口と草地広場(大)をつなぐスロープ

		とバリアフリー動線を兼用できるので、こちらをご利用いただきたい。
5	現在、大雨が降ると芝そり斜面の下や草地広場（小）のあたりに水が溜まる。何か対策をするのか。	水が溜まる恐れがある場所には、側溝や枳、暗渠管等を設置して適切に排水処理を行う。
6	駐輪場は、地域イベント時に足りないと思うので増やして欲しい。花と緑の小広場にも必要なのではないか。	駐輪台数は、国土交通省実施の「都市公園利用実態調査」に基づく想定必要基数よりも多い台数で計画している。地域イベント時は、その他の空いているスペースを臨時でご利用いただきたい。花と緑の小広場は、空間があまり大きくないことから、駐輪場の専用施設を設ける予定はない。
7	西側区道沿いの玉石積みは残すのか。歴史的にも景観的にもとても貴重なので残してほしい。	見通しを良くするため、今ある玉石積みは撤去する。撤去した玉石は、草地広場（大）と遊戯広場の西側に生じる高低差部分に再利用して昔からの風景を継承する。
8	現在、イチョウなど立派な樹木が多くあり、秋には黄葉して綺麗であるが、これらは伐採するのか。	樹木調査結果や施設配置検討を踏まえ、保存できる既存樹木はできるだけ活用する。
9	現在、暫定利用広場の北側と南東部の擁壁に、子どもがボールを当てていることがあり音が響く。直接ボールが当たらないよう壁面に防球ネットを設置してほしい	擁壁の前には、ボールを当てられないように防球ネットではなく植栽を配置する。
10	この地域は高齢者が多いので、座って休みながら背や腰を伸ばすことができる健康器具を設置して毎日公園で運動ができるようにして欲しい。	背伸ばしベンチ等の健康遊具を草地広場（大）南東部の園路沿いに設置する。
11	花と緑の小広場と草地広場（大）の間にある階段の勾配をなるべく緩やかにして欲しい。	東京都福祉のまちづくり条例に基づいた勾配の階段を設置する。
12	現在、暫定利用広場の南側にある段差はどうなるのか。また、平面図の黄緑色に着色されている部分は草地なのか。草地だと蚊の発生が懸念される。	地形上、段差を解消することは困難であるため、玉石積みの土留めを部分的に設ける。黄緑色の部分は芝生または草地であるが、整備後は適切に管理して蚊の発生を抑制する。
13	幼児遊具の周りを安全な舗装にして欲しい。	遊具周りには安全領域を設けるとともに、落ちて危なくないように軟らかい舗装を設置する。
14	西側区道はとても暗く防犯上心配である。通学路になっているので、区道沿いの園路照度が確保できているのか検証	西側区道沿いも含め園路は、防犯上必要な照度を確保するように配置する。さらに、必要照度とは別に玉石積みを照らす

	して欲しい。	アップー照明を設けて園路空間を明るくし、夜間でも安全に通れるようにする。
15	コートまでは期待しないが、バスケットゴールを設置してもらえないか。新設が不可能なら他の公園に設置することは可能なのか。	中野区全体で公園の機能分担をしており、この公園には特定のスポーツ専用施設は設けない方針である。地域の協力のもと、禁止事項の緩和を図ることができれば、草地広場（大）でバスケットボールのパスやドリブルも含めてボール遊びを楽しんでいただけたらと考えている。既設の公園では、「谷戸運動公園」、「南台公園」、「上高田台公園」にバスケットゴールを設置している。
16	常時開放になると、防犯上見通しの悪いところは特に配慮して欲しい。	防犯カメラを2基設置しているが、安全に配慮し、見通しの悪いところを再度検証して防犯カメラを増設する。

②防災施設・防災計画について

No.	区民等からの意見・要望	区の考え方
1	東側の公園出入口は、災害時限定ではなく平常時も利用できるようにして欲しい。また、避難路機能を確実に担保するため、ここを区道として欲しい。	平常時も利用できるように取り組んでいる。

③利用ルール・管理方法について

No.	区民等からの意見・要望	区の考え方
1	防球ネットフェンスは設けないがボール遊びはできると聞いている。具体的などのようなボール遊びが可能なのか。	ボール遊びの範囲やルールについては、地域の皆さまと相談して決めていきたい。
2	この地域にはペットと一緒に入れる公園が全くないので、ドッグランを設けて欲しい。	ドッグランは設けないが、この公園ではリードを付けていれば、園路のみペットと一緒に散歩できるように考えている。
3	桜は良いと思うが、樹木管理が難しく、それを地域住民に任せると言われても困る。トイレ清掃も含めてどのように管理するのか。	地域住民参加型による公園管理の範囲やルールについては、区との連携体制も含め、地域の皆さまと相談して決めていきたい。トイレについては、巡回清掃を他の公園と同様に実施する。
4	公園内は完全禁煙なのか。	近年の喫煙に関する社会情勢や管理体制を踏まえて今後検討していく。公園の完全禁煙が求められている状況にある。
5	24時間の開放となると、夜間の防犯が心配なので、現在と同様に施錠管理して欲しい。	夜間の巡回警備を実施する。また、安全に配慮し、見通しの悪いところを再度検証して防犯カメラを増設する。

④その他

No.	区民等からの意見・要望	区の考え方
1	西側区道は、小学生が通学路として使う可能性が高いので工事車両の安全対策を徹底して欲しい。	工事の際は、周辺学校と調整し、通学時間帯は一時的に工事車両を通さないなど、状況に応じて対応したい。

2. 意見交換会後に変更した点

○基本設計(案)からの主な変更点

- ・防犯カメラの増設（基数については実施設計で検証する。）

3. 基本設計について

別紙、「(仮称)本町二丁目公園基本設計平面図」のとおり

4. 今後の予定

平成29年3月	実施設計完了
平成29・30年度	整備工事
平成30年度	開園

